

— 小山地区社協だより —

# ほほえみ

第71号

～ともに生きる～

<http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/chikushakyo/oyama/>



発行日・2021年3月1日  
 発行・小山地区社会福祉協議会  
 相模原市中央区向陽町8-1  
 小山公民館内  
 ☎042-755-0350  
 発行 小山地区社会福祉協議会  
 責任者 会長 長谷川澄男

## 小山地区 ふれあいのつどい

令和2年11月7日(土)10時より小山公民館で、今年度の「ふれあいのつどい」がコロナ禍を考慮し、例年より規模を縮小して開催されました。大会議室では「いま私たちにできること」をテーマに講演会を開催。講師の土屋和彦氏からは、「ご自身の体験を織り交ぜながら「小さな手助けでも必要とするならば、一人ひとり自分ができることから始めましょう」との呼びかけが。また、里親として18人の子どもを養育する中で、常に寄り添う姿勢を大切に試行錯誤しながら、学習支援や給食活動などに取り組んでこられた経緯が話され、このように活動できるのは、社会福祉への家族の共有感と協力が大きいと、ユーモアも交えての話に皆が聞き入っていました。質疑応答も多く出され、時間はあっという間に過ぎました。



講師の土屋和彦氏



大会議室の様子

一方、多目的室では幼児から小学生までを対象に、密を避けるため2回に分けて、フェイスシールド作りを体験。身近な材料で簡単に作れ、仕上げにお気に入りのシールを張って個性豊かなフェイスシールドができました。その後、ビンゴゲームに移り「リーチ!」「ビンゴ!」と盛り上がる中、達成した子から順にお菓子の袋をいただき、みんな満足顔で終了しました。



フェイスシールド作りの様子



みんなで記念撮影



あいちゃん



# 小山中学校

## みんないいひと福祉体験講座



毎年、小山地区社協と清新地区社協の協力の下で行われている「小山中学校福祉体験講座」が、11月17日(火)にコロナ禍での開催となりました。

ボッチャボランティアグループは、小山地区社協からの依頼を受けて毎年お手伝いをしています。

例年は車イスを使ってのボッチャ体験を行ってききましたが、今年は車イスに重点を置いてボッチャ体験を行いたいというグループの意向から、事前に車イスの操作を何度も練習して当日に臨みました。その甲斐あってか、かなり現実に近い車イスの操作とボッチャを指導することができたと思っています。学校の先生からも、普段は車イスに触れる機会のない生徒たちにとって、とても良い経験になったと感謝の言葉をいただきました。

ボッチャボランティアグループ 山田良章



### 高齢者世帯や子育て世帯などの日常生活での困りごと おやま生活サポートセンター がお手伝いします！



自転車のサドル修理



庭木剪定・草刈り



換気扇の掃除



こんな事やってもらえるのかなあ…まずはお電話ください！

**【受付電話番号】 ☎090-5990-0294**

随時受け付けています。出られない場合は折り返しご連絡いたします。





## 趣味に生きる紹介シリーズ⑦

## 「ヘタでいい ヘタがいい」

絵手紙への思い 駅前地区在住 菅沼牧子さん

始めたきっかけは、日本絵手紙協会公認講師である大学の先輩に「ハワイの文化交流会に絵手紙の紹介をするので参加しませんか？」との声かけからでした。

この交流会は、ハワイのホノルルフェスティバルで年1回開催され10年間、絵手紙の伝道をしました。

私も公認講師の資格を取得し、現在はカルチャースクール等の講師をしています。本業は別でしたが、絵手紙から受けた影響は多大で、今ではライフワークになっています。

「ヘタでいい ヘタがいい」というのが絵手紙のキャッチフレーズ。この言葉に安心して描き始める方が多く、あれこれ縛りのないこの世界を楽しんで描いているように思います。筆墨と画の絵手紙は、その人そのものと言われます。手紙は自分の思いを届けるものだから、感じる心を広く、強く、深くありたい。それには多くの「いい人、いいもの」との出会いを重ねていくことが大切だと思っています。これからも自分探しの修行です。



心温まる作品と菅沼牧子氏

昨年体調を崩し療養している間、毎日のように多くの方から絵手紙が届き、なかなか返信できなくても、届くことの嬉しさ、有難さに涙して読みました。早く元気になって絵手紙を届けたいとの励みになりました。人と人の温もりを感じる絵手紙のやり取りをもっともっと広めていきたいと思っています。



## 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 下記事業は3月末まで中止となりました

- ボッチャの練習 (第三水曜日)
- ほっとほっとカフェ (第三水曜日)
- あつまれ! おやこ (第四木曜日)

令和3年4月以降の予定は、地域情報紙等でお知らせいたします。



## 編集後記

令和2年度はコロナ一色に塗りつぶされたような一年でした。生活様式も一変し、人と人とが触れ合える「あたりまえの日常」が、これほど尊いと感じたことは無かったように思います。新年度は新たな活動様式も取り入れながら、前向きに希望に彩られた一年にしたいものです。

広報委員会一同





## ご協力 誠にありがとうございます

「じぶんの町を良くするしくみ」赤い羽根共同募金は、地域の社会福祉施設の整備や、私たち地区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動にも活用されています。

### 赤い羽根共同募金

## 令和2年度の募金実績等 (12月31日現在)

令和元年度は、募金実績の61.7%が市内で活用されています。

| 区分        | 令和2年度小山地区内の共同募金額<br>(12月31日現在) | 【参考】令和元年度 県共同募金会から相模原市内への受配総額 |
|-----------|--------------------------------|-------------------------------|
| 赤い羽根募金    | 1,034,516円                     | 34,863,420円                   |
| 年末たすけあい募金 | 481,520円                       | 15,354,627円                   |
| 合計        | 1,516,036円                     | 50,218,047円                   |

## 小山地区社会福祉協議会での活用状況

### ◇ 住民参加の促進事業に ◇



幅広い世代の方に参加していただけるよう、地域の「知りたい・学びたい」講座を開催します。

### ◇ 情報提供活動事業に ◇



ボランティア相互の交流・情報交換を開催し、よりよいボランティア活動に繋がります。

お問い合わせ 神奈川県共同募金会 相模原市支会小山地区分会  
相模原市中央区向陽町8-1 小山公民館(小山地区社会福祉協議会事務局内)  
電話 042-755-0350 FAX 042-755-7503

## やさしさをありがとう

令和2年10月1日(木)・2日(金)  
JR相模原駅前「赤い羽根」募金活動  
両日募金総額 52,674円  
ご協力ありがとうございました。



## 賛助会員募集

賛助会費は地域の福祉活動を支えています

一般賛助会費の5割は、小山地区の社会福祉協議会で活用されます。ご協力いただきました賛助会費は、高齢者・障がい者の生活支援や地区協会の活動支援など、地域に還元できる事業に活用させていただきます。皆さまの温かいご支援をよろしく願いたします。

【募集方法】  
自治会の皆さまのご協力のもと、一般賛助会員を募集しております

【一般賛助会費】  
年額一口 200円  
(何口でも結構です)